

2008年6月16日

各位

株式会社キョーリン
群馬大学

群馬大学への寄附講座等設置について

株式会社キョーリンの子会社であるキョーリン製薬株式会社（本社：東京都 社長：古城 格）と群馬大学は、2008年度から群馬大学において「重粒子線医学（キョーリン）講座」等を開設することとしましたので、お知らせいたします。

＜研究目的＞

本寄附講座は、我が国における重粒子線がん治療の充実・発展のため、放射線腫瘍医や医学物理士などの人材育成を行うことを目的として開設されるものです。

群馬大学は、現在までに放射線治療・核医学診断の教育研究・実地臨床において、我が国の医学部・医学系研究科のなかで最も先進的な役割を果たしてまいりました。

さらに重粒子線医学の面においては、現在、我が国の大学で初めてとなる重粒子線照射施設の建設工事が行われており、2009年度から臨床試験を開始する予定です。

今後も我が国における重粒子線医学の新しい局面を切り拓き、更に重粒子線医学に関わる人材育成を充実させるとともに、世界トップレベルを維持し高度な研究を推進していくため、キョーリン製薬(株)の協力を得て、医学系研究科内に「重粒子線医学（キョーリン）講座」を、重粒子線医学研究センターに「重粒子線医学（キョーリン）部門」を設置することにいたしました。

キョーリングループは、「健康はキョーリンの願いです」をコーポレートメッセージとして、目指す企業像に「グローバルな創薬ビジネスをコアとし、信頼をベースとした特色あるヘルスケア企業」を掲げ事業を展開しております。

その中核として新薬事業に取り組むキョーリン製薬(株)は、本寄附講座に寄付することにより、最先端の医学教育・研究における人材育成を支援いたします。

2008年度に設置する寄附講座の概要は以下のとおりです。

＜寄付概要＞

- (1) 大学名：群馬大学
- (2) 寄附講座の名称：「重粒子線医学（キョーリン）講座」
- (3) 設置期間：2008年度～2012年度

【本件問い合わせ先】

株式会社キョーリン 経営企画部 TEL 03-3293-3414
群馬大学総務部総務課長 君塚 剛 TEL 027-220-7003